

私立大学図書館協会西地区部会  
中国・四国地区協議会 2010 年度総会  
議 事 要 録

開催日時 2010 年 4 月 16 日（金） 9：00～11：10  
開催場所 あわぎんホール（徳島県郷土文化会館 徳島県徳島市藍場町 2 丁目 14 番地）  
出席者 34 大学 49 名

挨拶（理事校） ノートルダム清心女子大学附属図書館 館長 脇 明子

議長選出 慣例により地区理事校の館長（ノートルダム清心女子大学附属図書館 脇 明子）が選出された。

自己紹介 参加者全員の自己紹介を着席順に行った。

## 議 事

### I 報告事項

- 1 2009 年度中国・四国地区協議会会務報告
- 2 2009 年度西地区部会会務報告、予算執行状況報告について  
2010 年度事業計画（案）及び予算（案）、役員校、2010・2011 年度当番校について
- 3 2009 年度私立大学図書館協会会務報告、2009・2010 年度役員校について  
第 71 回（2010 年度）私立大学図書館協会総会・研究大会について

地区理事校のノートルダム清心女子大学（土師）から、上記 1～3 について、「総会資料」3～13 ページ及び 17～21 ページに基づき一括報告され、承認された。

### II 協議事項

「第 1 号議案」 2010 年度（第 40 回）私立大学図書館協会中国・四国地区研究会について

責任幹事校比治山大学福田房子氏から、総会資料 14 ページに基づき、本年度の地区研究会開催案が説明された。参加費、情報交換会費については第 6 号議案と関係するため、後ほど協議することとし、それ以外の部分について承認された。

「第 2 号議案」 2011・2012 年度私立大学図書館協会西地区部会中国・四国地区理事校について

ノートルダム清心女子大学（土師）から、次期理事校は輪番により広島工業大学であることが説明され、承認された。そして、同大学景山三平館長から挨拶があった。

「第 3 号議案」 「私立大学図書館協会西地区部会役員校・当番校の選出基準についての申合せ」について

ノートルダム清心女子大学（土師）から、2009 年 6 月開催の西地区部会第 1 回役員会において、部会長校より提案された選出基準（試案）及び輪番制（試案）が 9 月開催の第 2 回役員会で了承さ

れた旨、資料に基づき説明された。そして、これを受け、今後の当地区協議会からの役員校・当番校の選出について協力を要請した。倉敷芸術科学大学の須田英二氏から、同大学が2011年度の西地区部会総会当番校になっているが、総会当番校の学校規模について基準はどのようになっているかとの質問が出された。これに対し、ノートルダム清心女子大学（土師）から、この申合せは学校規模の基準ではないこと、また、各地区の選出基準を妨げるものではないことが説明された。続いて岡山・鳥取地区の事務局大学である岡山理科大学の西崎徹氏より、地区ごとに選出の申合せを定めており、岡山・鳥取地区の話し合いの結果倉敷芸術科学大学が担当することになったとの補足説明があった。

※ 総会資料【別紙1】及び【別紙4】参照

「第4号議案」 2013・2014年度私立大学図書館協会役員校・当番校（中国・四国地区関係）について

ノートルダム清心女子大学（土師）から、総会資料41ページに基づき、地区ローテーションによる次次期役員校、当番校が確認された。

「第5号議案」 2011年度私立大学図書館協会中国・四国地区研究会発表校について

ノートルダム清心女子大学（土師）から、岡山・鳥取地区は山陽学園大学、広島・山口地区は広島修道大学、四国地区は四国大学であることが説明され、承認された。

「第6号議案」 私立大学図書館協会中国・四国地区協議会会計の残金について

ノートルダム清心女子大学（土師）から、各大学へのアンケート調査結果の説明に続き、残金の有効活用について協議依頼があり、活発な意見交換がなされた。

会場から出された主な意見としては、会費の減額を行ってはどうか、研究会を充実させる方向で検討してはどうか、必要な場合はホテル等大学以外の会場を使用してはどうか、外部の講師を依頼してはどうか、情報交換会費の補助を続けてはどうか、飲食代への支出には反対である、理事校の経費補助に当ててはどうかなどである。これらの意見を受けて、議長から、研究会の内容充実を関係校で検討すること、当面、情報交換会費を半額補助すること、そして、研究会終了後のオプション行事参加費の補助も検討してよいこと、会費見直し及び理事校経費補助について西地区部会役員会において問題提起することが提案され、了承された。

この後、今年度の地区研究会責任幹事校比治山大学福田房子氏から、研究会の企画見直しは今年度から適用されるのかとの質問があり、今年度から見直すことも可能であるということになった。

※ 総会資料【別紙2】参照

「第7号議案」 中国四国地区の私立大学図書館におけるネットワーク整備への取り組みについて

川崎医療福祉大学の片岡美佐江氏から、アンケート調査への協力のお礼と、アンケート結果をまとめたものが別紙3であることの説明があった。

※ 総会資料【別紙3】参照

### Ⅲ 確認事項

ノートルダム清心女子大学（土師）から、「総会資料」16ページに掲載されている事項について、

次のとおり確認がなされた。

- 1 2010年度（第40回）中国・四国地区研究会発表校  
岡山・鳥取地区 川崎医療福祉大学  
広島・山口地区 広島工業大学  
四国地区 松山東雲女子大学
- 2 2013・2014年度中国・四国地区研究会幹事校  
広島国際大学・山陽学園大学

#### IV その他

- 1 本協会会議等の開催日程について  
ノートルダム清心女子大学（土師）から、2009年6月開催の西地区部会第1回役員会において、東・西各地区総会の慣例となっている日程が確認されたとの報告があった。
- 2 2010年度西地区部会研究会研究発表者の推薦について  
ノートルダム清心女子大学（土師）から、中国学園大学を推薦したとの報告があった。
- 3 中国・四国地区協議会2010年度総会資料の地区協議会HP事前掲載について  
ノートルダム清心女子大学（土師）から、昨年の総会での意見を参考に、今回の総会資料を試行的にHPに掲載したとの報告があった。

閉会挨拶（理事校） ノートルダム清心女子大学附属図書館 館長 脇 明子

以上